

一人ひとりが自分らしく生きるための人権方針を策定 「女性のエンパワーメント原則(WEPs)」にも署名 感性や価値観を尊重し、彩りのある人生を実現

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社：東京都中央区、社長：鈴木郷史)は、グループ理念「感受性のスイッチを全開にする」を掲げ、一人ひとりの感性や価値観を尊重し、世界中の人々が心豊かで彩りのある楽しい人生を過ごせることを目指していきます。その実現に欠かせない人権尊重の方針を、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき2018年5月に「一人ひとりが自分らしく生きるために(ポーラ・オルビスグループ人権方針)」として策定しました。また、当グループは女性管理職比率が42.3%※あり、事業領域とも関わりの深い女性のエンパワーメント原則(Women's Empowerment Principles、以下「WEPs」という)に賛同・署名し、より一層社会に向けた活動を行っていきます。※2017年12月現在

一人ひとりが自分らしく生きるための人権方針(以下抜粋)

ポーラ・オルビスグループ理念「感受性のスイッチを全開にする」の中には、一人ひとりの感性や価値観を尊重し、世界中の人々が、心豊かで彩りのある楽しい人生を過ごして欲しいという想いを込めています。また、当グループは、かけがえのない個人としての基本的権利である「人権」尊重の責任を果たす努力をしていきます。世界中の誰もが、自らの根源的な欲求を満たす安全で自由かつ平等な環境のもと、個性を発揮し集団としても価値を高めていけるよう取り組んでいきます。

適応範囲…当グループ役員・従業員・ビジネスパートナー

責任の遂行…適用法令の遵守/人権デューデリジェンス/救済/教育/対話・協議/報告

当法人権方針はこちらのURLからご覧ください

<http://www.po-holdings.co.jp/csr/social/right/index.html>

女性のエンパワーメントについての当グループの具体的な取り組み

女性のエンパワーメント原則(WEPs)とは、国連グローバル・コンパクトとUNWomenが共同で作成した女性の経済的エンパワーメントを推進する国際的な原則。

WEPsについてはこちらのURLからご覧ください

http://www.gender.go.jp/international/int_un_kaigi/int_weps/index.html

■女性管理職比率42.3%

ポーラ・オルビスグループの女性管理職比率は42.3%(国内外グループ)、女性従業員比率は71.6%(国内グループ、正規・非正規従業員)です。全ての従業員が働きやすい環境になるよう取り組みを行っています。また、これらの取り組みが評価され、2017年MSCI日本株女性活躍指数に選定されました。

■女性起業家に特化したコーポレートベンチャーキャピタル事業

ポーラ・オルビスホールディングスでは「女性の起業家に特化したコーポレートベンチャーキャピタル事業」を開始しました。次世代のロールモデルとなる女性リーダーの創出を目指し、主にシード・アーリー期の女性起業家への投資・支援を実施しています。

■国際女性デーのワークショップ

ポーラでは、2017年3月8日の国際女性デーに賛同し、働く女性のためのワークショップを実施しました。今後も、ポーラでは社会で女性が活躍できるよう取り組みを進めていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp